

(別紙1)

「工事費内訳書」記載例（土木工用）

〇〇年〇月〇日

契約担当者 殿

（指名通知・入札公告に記載の鹿児島県知事又は地域振興局・支庁長名を記載）

住所 〇〇市〇〇町〇〇番〇〇号

株式会社〇〇建設

氏名 代表取締役 ○ ○ ○ ○

紙による代理人入札のみ → 代理人 ○ ○ ○ ○ 印

紙による代表者本人による入札は、代表者の印を押印する。

工 事 名	〇〇事業〇〇地区〇－〇工区
工事場所	〇〇市〇〇町地内

工 事 費 内 訳 書

工種等	見積金額（円）										割合 (%)
道路改良					○	○	○	○	○	○	100
土工					○	○	○	○	○	○	〇〇
法面工					○	○	○	○	○	○	〇〇
擁壁工					○	○	○	○	○	○	〇〇
雑工						○	○	○	○	○	〇〇
直接工事費					○	○	○	○	○	○	100
うち材料費					○	○	○	○	○	○	
うち労務費					○	○	○	○	○	○	
共通仮設費計						○	○	○	○	○	
純工事費					○	○	○	○	○	○	
現場管理費					○	○	○	○	○	○	
うち法定福利費の事業主負担額						○	○	○	○	○	
うち建退共制度の掛金							○	○	○	○	
工事原価					○	○	○	○	○	○	
一般管理費計						○	○	○	○	○	
工事価格					○	○	○	○	○	○	
うち安全衛生経費						○	○	○	○	○	

株式会社〇〇建設

※複数枚になる場合は、欄外下段に会社名を記載のこと。

※日付は応札日を記載する。

※住所欄は入札参加者の所在地、氏名欄は商号又は名称、代表者名を記載する。

※代理による入札の場合は、代理人氏名も記載する。

（電子入札の場合は代表者名）

※紙入札の場合は必ず押印のこと。（印：代表者印又は代理人印）

※電子入札の場合押印不要

※工事名、工事場所は入札参加指名通知書又は公告文に基づき記載する。

※工事の工種ごとに見積金額を記載する。

※積算体系のレベル

明細型積算書：B2レベル

単価型積算書：B1レベル

の「工種」まで記載する。

※直接工事費については各工種一式にて計上し記載する。

※「割合」欄には直接工事費に対する工事ごとの割合(%)を記載する。

※「工事価格」は入札額と一致させること。

※紙入札の場合、記載事項を加除訂正した際は、該当箇所に訂正印を押印する。